

海士町

地区別

地震防災マップ

地域の危険度



地震による死亡原因のトップとは。

平成7年の兵庫県南部地震では、6,400人を超える犠牲者のうち約8割が住宅の倒壊等による圧死でした。
(厚生省大臣官房統計情報部発表)

■兵庫県南部地震の死亡原因



【出典】
 ・『阪神・淡路大震災調査報告 総集編』(阪神・淡路大震災調査報告編集委員会、2000年)
 ・『厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況」(1995.12) より引用



大切な命と財産を守るためには
住宅や建築物の耐震化が重要です。



地域の危険度マップを活用し、「住まいの耐震性」や「家具転倒防止」などの地震対策について考えるきっかけとして下さい。

お住まいの建物、耐震化していますか。

■ 木造住宅の耐震基準

木造住宅の耐震性は、昭和56年施行の「新耐震設計基準」に基づいて設計されているかどうか、重要なポイントです。

昭和56年施行の「新耐震設計基準」に基づいて設計された建物は、それ以後の地震、平成5年(新潟県、北越前)・平成6年(北海道、中越前)・平成7年(兵庫県、神戸)など、各地で大きな地震に見舞われても大きな被害を被っていないケースは少なかつたとされています。
 つまみ、**倒壊のおそれのある住宅は新耐震設計基準を満たしていない住宅となり、全戸でおよそ半数を占めています。**

■ 専門家による耐震診断

昭和56年施行の「新耐震設計基準」に基づいた設計や、目立った症状がなくても、耐震診断を受けることが重要です。

住宅が過去に大きな災害を経験した場合や、住宅の構造・形状・窓などの開口部の状況から、耐震性に問題を発生している場合があります。
 耐震性の判断には建築業の専門知識が要求されるため、専門家による耐震診断を受けることが重要です。

今、すぐはじめよう！地震対策。

ステップ1

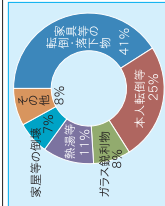
- 「誰でもできる我が家の耐震診断」
 (国土交通省住宅局監修、(財)日本建築防災協会発行)
- インターネット上で手軽に耐震診断ができます。
 - 診断メニューを手に入れて自分でも診断できます。

検索

ステップ2

- 住宅の中でできる対策
- 家具や書化動品の固定をお願いします。
 - 閉じ込められた時、音で居場所を知るプザーを準備しましょう。

原因



住宅の倒壊を免れたいとしても、家の中では、家具や書化動品の転倒や落下によるケガが考えられます。
 新潟県中越地震でも、負傷者の半数が倒れたガラスや、家具などの転倒や落下によるケガだといわれています。

【出典】平成10年(2004年)新潟県中越地震における人的被害に関する現地調査結果(東京消防庁、2004年)

ステップ3

家の外へ向けた対策

- いざという時のために、避難所や避難路を確認しておきましょう。
- 家族の集合場所や、連絡方法を事前に話し合っておきましょう。

海士町役場

〒684-0403 島根県隠岐郡海士町大字海士1490

お問い合せ

電話 (08514) 2-0111

海士町 地震防災マップ

地域の危険度



地震による死亡原因のトップ3は、
平成7年の長崎県・熊本地震では、6,400人を超える
犠牲者の発生が原因の住宅の倒壊等による圧死でした。
(国土省「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」)

| 原因 | 割合 |
|-------|-----|
| 倒壊・圧死 | 73% |
| 溺死 | 15% |
| 火災 | 12% |

【出典】「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」(国土省)
「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」(国土省)
「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」(国土省)

注意

▲本町の危険度マップ作成にあたっては、
国土省の地震調査研究推進本部「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」を参考に、
地震発生時に発生する可能性がある危険度を想定しています。

▲本町の危険度マップは、平成25年6月の国勢調査結果に基づき作成されています。
最新の国勢調査結果が発表された場合は、最新の国勢調査結果に基づいて危険度を再評価いたします。

▲本町では、平成25年6月の国勢調査結果に基づき、本町の危険度マップを作成しています。
最新の国勢調査結果が発表された場合は、最新の国勢調査結果に基づいて危険度を再評価いたします。

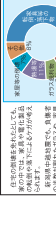
お住まいの建物、耐震化していますか。

■**氷温住宅の耐震基準**
氷温住宅の耐震基準は、平成25年6月の国勢調査結果に基づき作成されています。
最新の国勢調査結果が発表された場合は、最新の国勢調査結果に基づいて危険度を再評価いたします。

■**専門家による耐震診断**
住宅の耐震性を専門家が確認し、耐震性を評価し、必要に応じて耐震補強を行います。
耐震診断を受けることで、住宅の耐震性を確認し、必要に応じて耐震補強を行います。

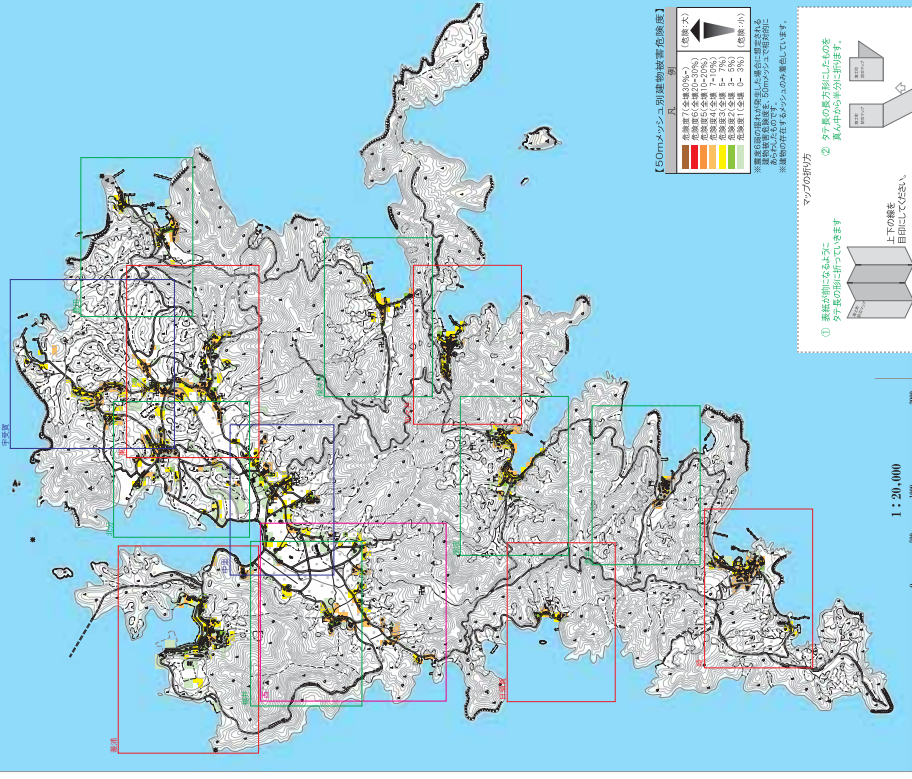
■**今、すぐはじめよう！耐震対策。**
「床」でできる我が家の耐震対策。
●「床」の耐震対策は、地震発生時に床が揺れ動かないようにするための対策です。
●「床」の耐震対策は、地震発生時に床が揺れ動かないようにするための対策です。

■**住宅の点検と耐震診断**
●地震発生時の被害を軽減するためには、地震発生前の点検と耐震診断が重要です。
●地震発生時の被害を軽減するためには、地震発生前の点検と耐震診断が重要です。



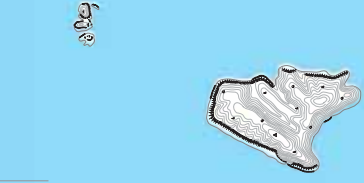
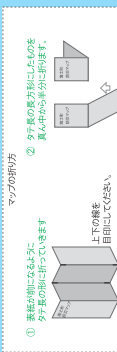
■**家の外へ逃げた対策**
●地震発生時の被害を軽減するためには、地震発生時の避難行動が重要です。
●地震発生時の被害を軽減するためには、地震発生時の避難行動が重要です。

■**海士町役場**
〒965-8602
海士町役場 総務課 防災担当 電話：(0851 4) 2-0111



【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 危険度 | 割合 |
|------|-----|
| 高 | 20% |
| 中 | 30% |
| 低 | 40% |
| 非常に低 | 10% |



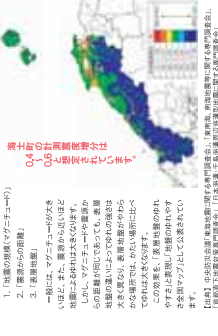
地震 地域の危険度マップ 作成の手順と考え方

■**海士町で震度の揺れが発生したと想定したら...**
地震発生時に発生する可能性がある危険度を想定しています。
地震発生時に発生する可能性がある危険度を想定しています。

| 震度 | 被害状況 |
|-----|-----------|
| 0 | 0-0.4 |
| 1 | 0.5-0.9 |
| 2 | 1.0-1.4 |
| 3 | 1.5-1.9 |
| 4 | 2.0-2.4 |
| 5 | 2.5-2.9 |
| 6 | 3.0-3.4 |
| 7 | 3.5-3.9 |
| 8 | 4.0-4.4 |
| 9 | 4.5-4.9 |
| 10 | 5.0-5.4 |
| 11 | 5.5-5.9 |
| 12 | 6.0-6.4 |
| 13 | 6.5-6.9 |
| 14 | 7.0-7.4 |
| 15 | 7.5-7.9 |
| 16 | 8.0-8.4 |
| 17 | 8.5-8.9 |
| 18 | 9.0-9.4 |
| 19 | 9.5-9.9 |
| 20 | 10.0-10.4 |
| 21 | 10.5-10.9 |
| 22 | 11.0-11.4 |
| 23 | 11.5-11.9 |
| 24 | 12.0-12.4 |
| 25 | 12.5-12.9 |
| 26 | 13.0-13.4 |
| 27 | 13.5-13.9 |
| 28 | 14.0-14.4 |
| 29 | 14.5-14.9 |
| 30 | 15.0-15.4 |
| 31 | 15.5-15.9 |
| 32 | 16.0-16.4 |
| 33 | 16.5-16.9 |
| 34 | 17.0-17.4 |
| 35 | 17.5-17.9 |
| 36 | 18.0-18.4 |
| 37 | 18.5-18.9 |
| 38 | 19.0-19.4 |
| 39 | 19.5-19.9 |
| 40 | 20.0-20.4 |
| 41 | 20.5-20.9 |
| 42 | 21.0-21.4 |
| 43 | 21.5-21.9 |
| 44 | 22.0-22.4 |
| 45 | 22.5-22.9 |
| 46 | 23.0-23.4 |
| 47 | 23.5-23.9 |
| 48 | 24.0-24.4 |
| 49 | 24.5-24.9 |
| 50 | 25.0-25.4 |
| 51 | 25.5-25.9 |
| 52 | 26.0-26.4 |
| 53 | 26.5-26.9 |
| 54 | 27.0-27.4 |
| 55 | 27.5-27.9 |
| 56 | 28.0-28.4 |
| 57 | 28.5-28.9 |
| 58 | 29.0-29.4 |
| 59 | 29.5-29.9 |
| 60 | 30.0-30.4 |
| 61 | 30.5-30.9 |
| 62 | 31.0-31.4 |
| 63 | 31.5-31.9 |
| 64 | 32.0-32.4 |
| 65 | 32.5-32.9 |
| 66 | 33.0-33.4 |
| 67 | 33.5-33.9 |
| 68 | 34.0-34.4 |
| 69 | 34.5-34.9 |
| 70 | 35.0-35.4 |
| 71 | 35.5-35.9 |
| 72 | 36.0-36.4 |
| 73 | 36.5-36.9 |
| 74 | 37.0-37.4 |
| 75 | 37.5-37.9 |
| 76 | 38.0-38.4 |
| 77 | 38.5-38.9 |
| 78 | 39.0-39.4 |
| 79 | 39.5-39.9 |
| 80 | 40.0-40.4 |
| 81 | 40.5-40.9 |
| 82 | 41.0-41.4 |
| 83 | 41.5-41.9 |
| 84 | 42.0-42.4 |
| 85 | 42.5-42.9 |
| 86 | 43.0-43.4 |
| 87 | 43.5-43.9 |
| 88 | 44.0-44.4 |
| 89 | 44.5-44.9 |
| 90 | 45.0-45.4 |
| 91 | 45.5-45.9 |
| 92 | 46.0-46.4 |
| 93 | 46.5-46.9 |
| 94 | 47.0-47.4 |
| 95 | 47.5-47.9 |
| 96 | 48.0-48.4 |
| 97 | 48.5-48.9 |
| 98 | 49.0-49.4 |
| 99 | 49.5-49.9 |
| 100 | 50.0-50.4 |

※ 地震発生時に発生する可能性がある危険度を想定しています。
地震発生時に発生する可能性がある危険度を想定しています。

■**海士町では、震度6弱以上の揺れが発生する場合があります。**
地震発生時に発生する可能性がある危険度を想定しています。
地震発生時に発生する可能性がある危険度を想定しています。



0.4 震度6弱
0.6 震度6強
0.8 震度7

【出典】国土省「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」(国土省)
「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」(国土省)
「平成7年長崎県・熊本地震調査報告書」(国土省)

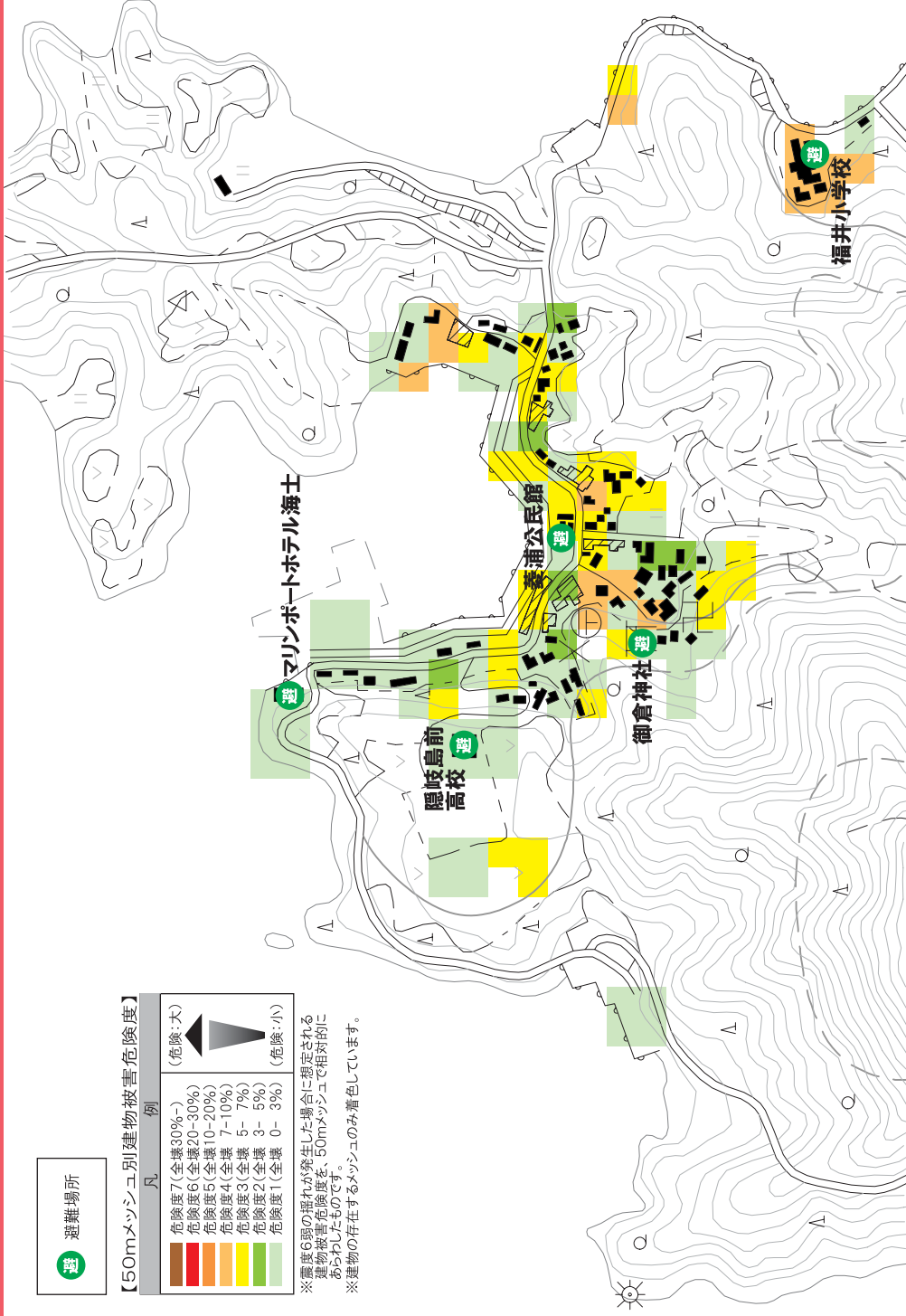


【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡例 | (危険:大) |
|----------------|--------|
| 危険度7(全壊30%~) | |
| 危険度6(全壊20-30%) | |
| 危険度5(全壊10-20%) | |
| 危険度4(全壊7-10%) | |
| 危険度3(全壊5-7%) | |
| 危険度2(全壊3-5%) | |
| 危険度1(全壊0-3%) | |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。



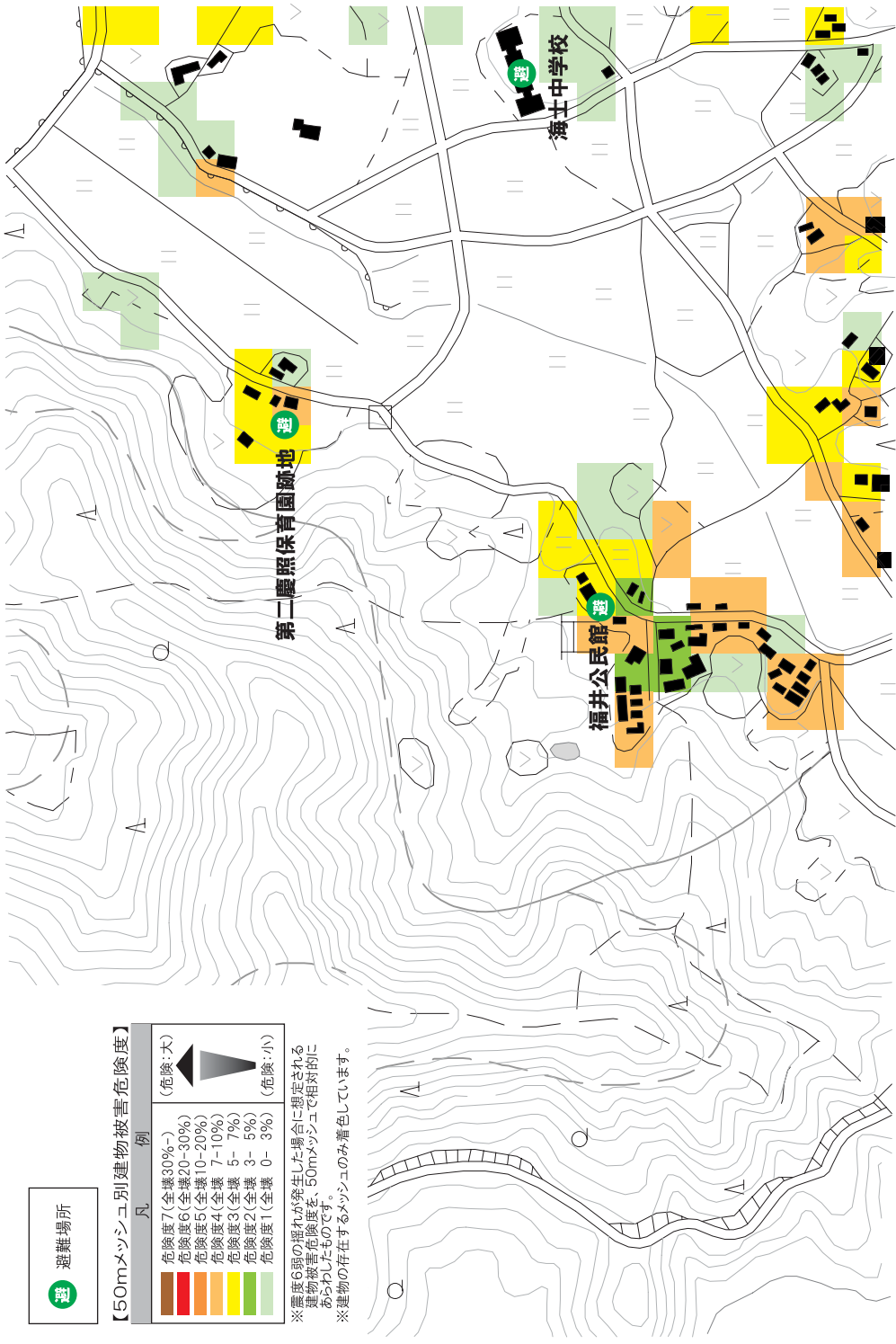


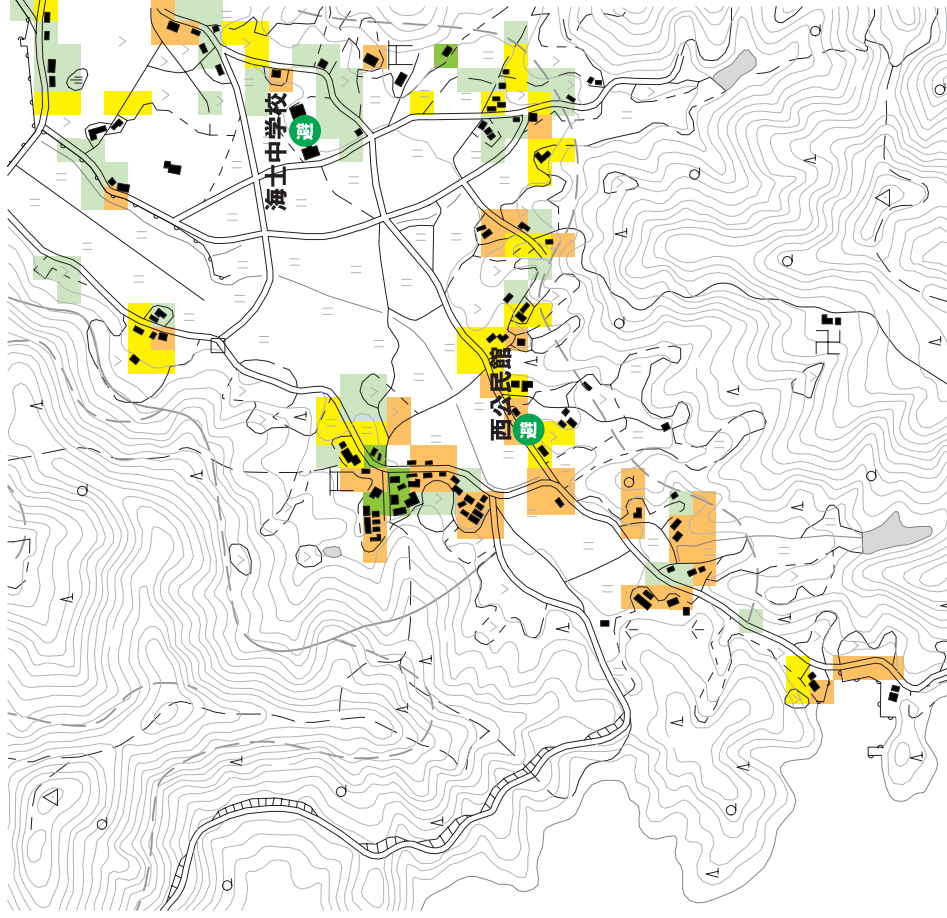
【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡例 | (危険:大) |
|----------------|--------|
| 危険度7(全壊30%-) | |
| 危険度6(全壊20-30%) | |
| 危険度5(全壊10-20%) | |
| 危険度4(全壊7-10%) | |
| 危険度3(全壊5-7%) | |
| 危険度2(全壊3-5%) | |
| 危険度1(全壊0-3%) | |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。





避難場所

【50mメッシュ別建物被害危険度】

凡例

| | |
|----------------|--------|
| 危険度7(全壊30%~) | (危険:大) |
| 危険度6(全壊20~30%) | |
| 危険度5(全壊10~20%) | |
| 危険度4(全壊7~10%) | |
| 危険度3(全壊5~7%) | |
| 危険度2(全壊3~5%) | |
| 危険度1(全壊0~3%) | (危険:小) |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。

海士町 地震防災マップ

地域の危険度

中里地区

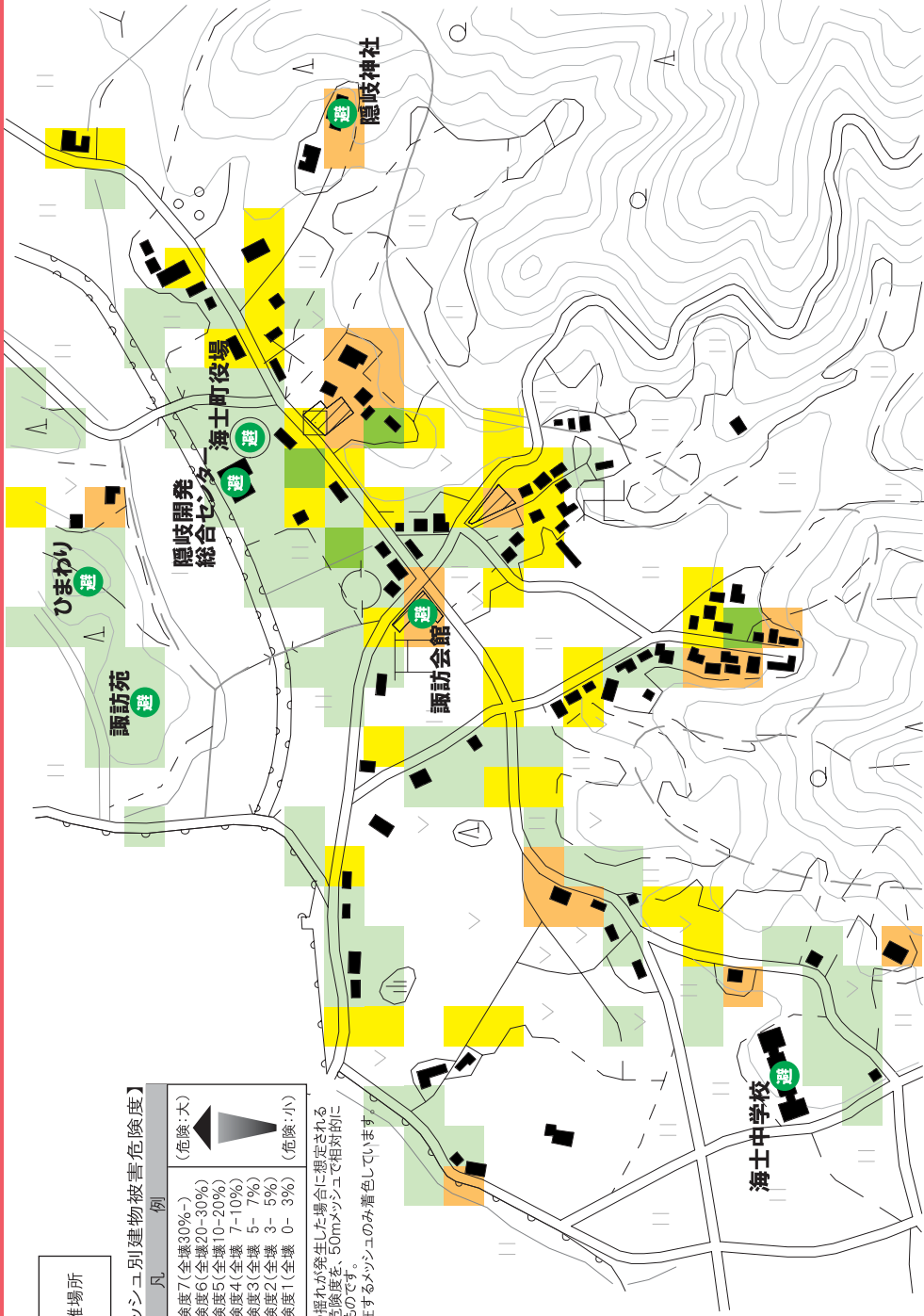


【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡例 | (危険:大) |
|----------------|--------|
| 危険度7(全壊30%-) | ▲ |
| 危険度6(全壊20-30%) | ▲ |
| 危険度5(全壊10-20%) | ▲ |
| 危険度4(全壊7-10%) | ▲ |
| 危険度3(全壊5-7%) | ▲ |
| 危険度2(全壊3-5%) | ▲ |
| 危険度1(全壊0-3%) | ▲ |
| | (危険:小) |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。



海士町 地震防災マップ 地域の危険度

東地区



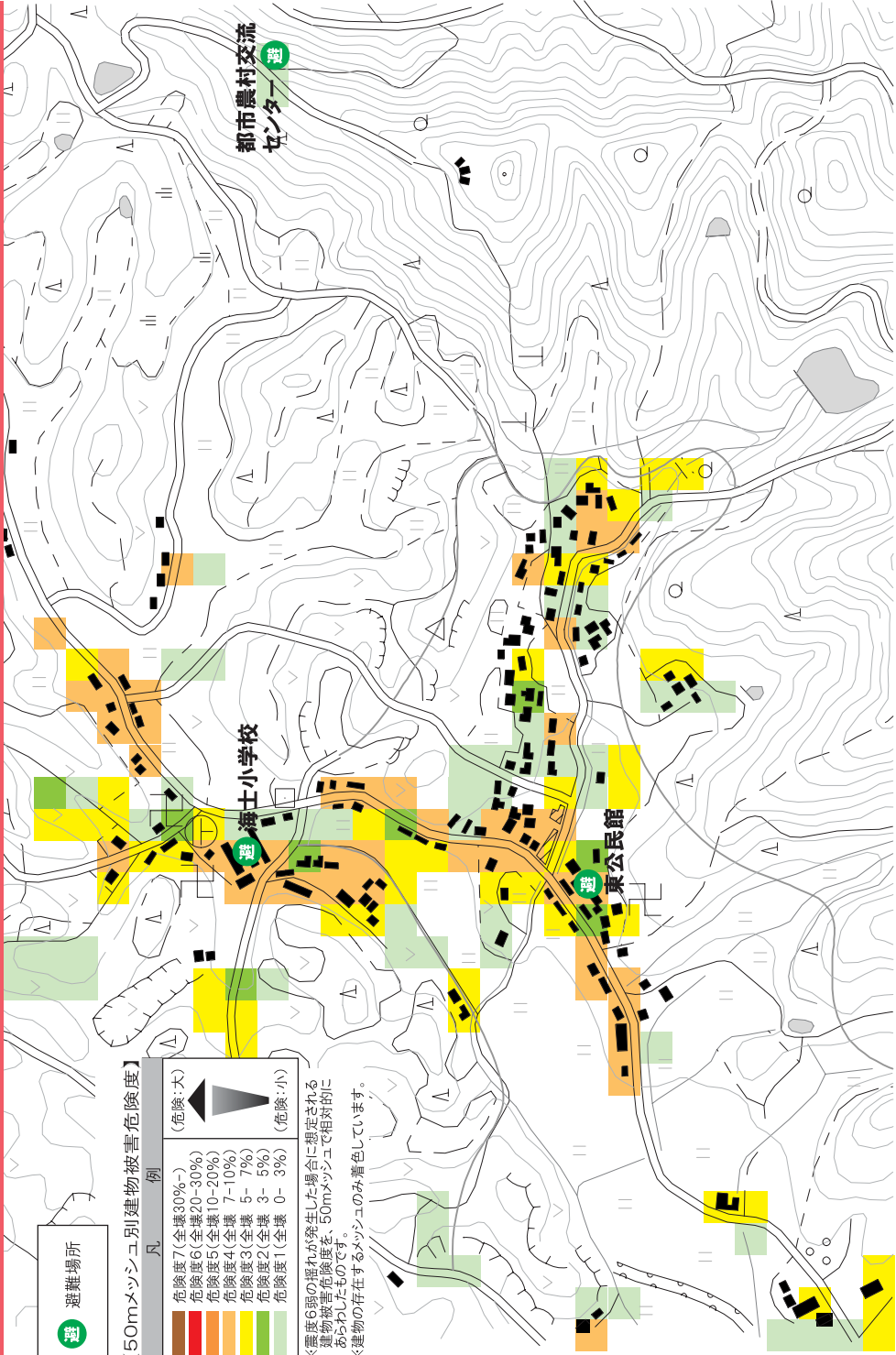
【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡例 | (危険:大) |
|----------------|--------|
| 危険度7(全壊30%~) | ▲ |
| 危険度6(全壊20~30%) | ■ |
| 危険度5(全壊10~20%) | ■ |
| 危険度4(全壊7~10%) | ■ |
| 危険度3(全壊5~7%) | ■ |
| 危険度2(全壊3~5%) | ■ |
| 危険度1(全壊0~3%) | ■ |

▲ (危険:小)

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。



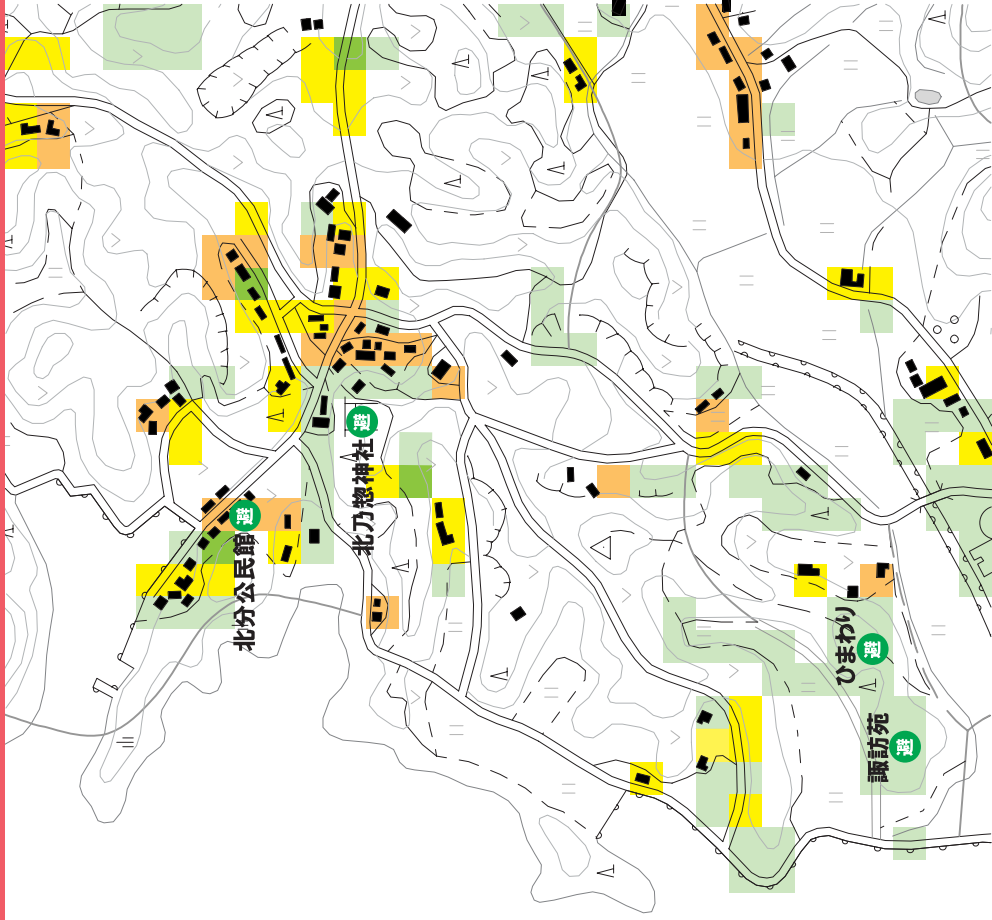


【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| | 危険度7(全壊30%-) |
| | 危険度6(全壊20-30%) |
| | 危険度5(全壊10-20%) |
| | 危険度4(全壊7-10%) |
| | 危険度3(全壊5-7%) |
| | 危険度2(全壊3-5%) |
| | 危険度1(全壊0-3%) |
| | (危険:大) |
| | (危険:小) |

※震度6弱の揺れが発生した場合に懸定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。



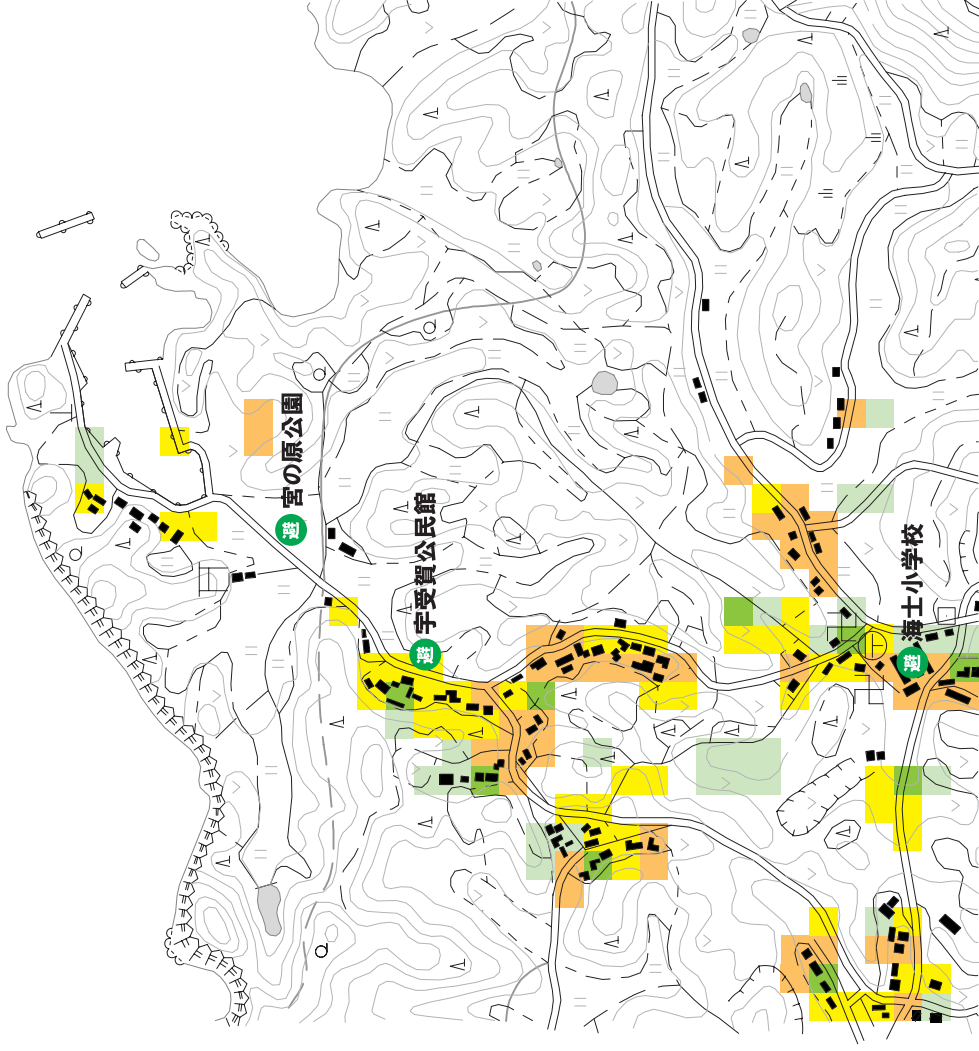


【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| | 危険度7(全壊30%-) |
| | 危険度6(全壊20-30%) |
| | 危険度5(全壊10-20%) |
| | 危険度4(全壊7-10%) |
| | 危険度3(全壊5-7%) |
| | 危険度2(全壊3-5%) |
| | 危険度1(全壊0-3%) |
| | (危険:大) |
| | (危険:小) |

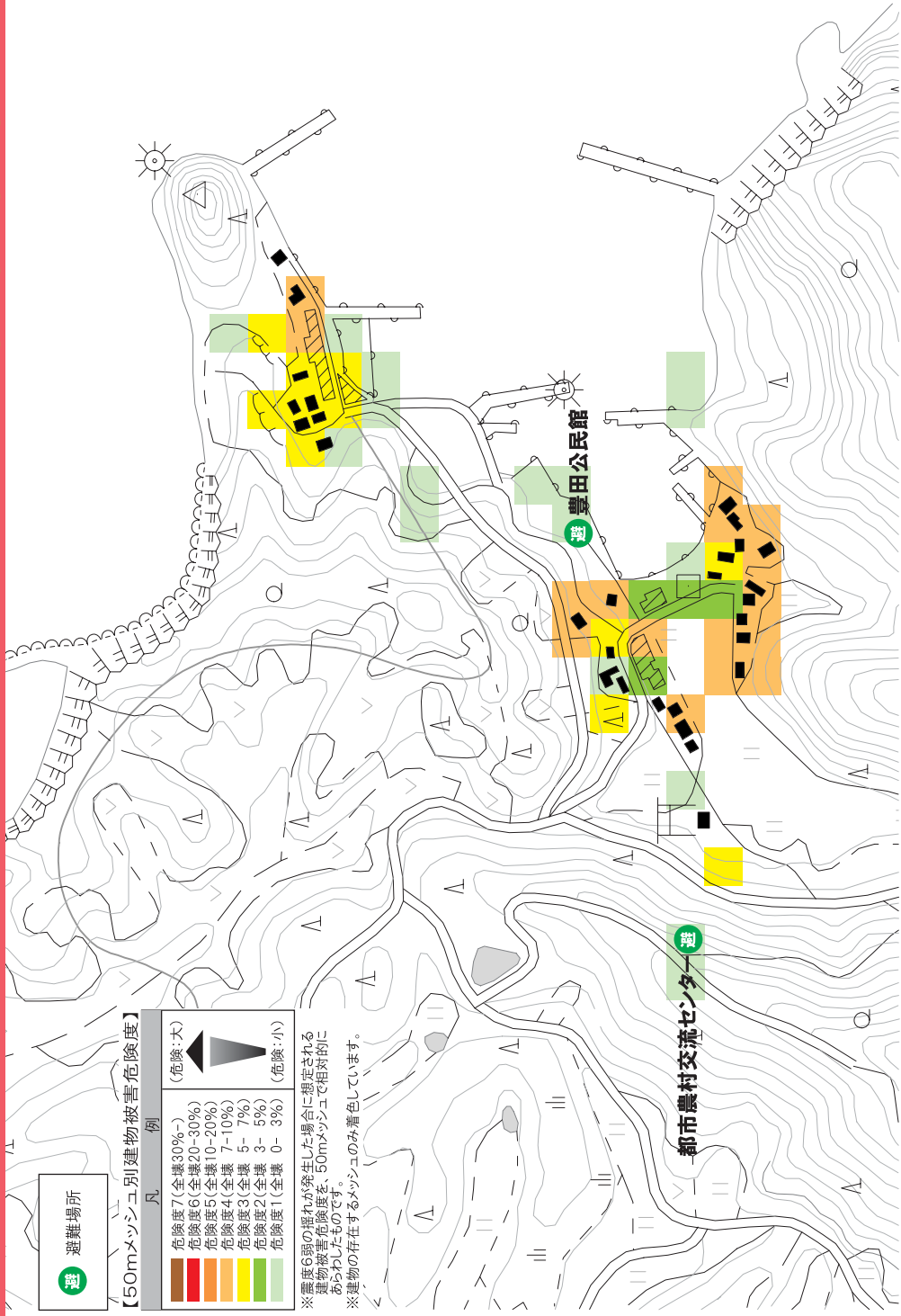
※震度6弱の揺れが発生した場合に懸定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。



海士町 地震防災マップ 地域の危険度

豊田地区



避 避難場所

【50mメッシュ別建物被害危険度】

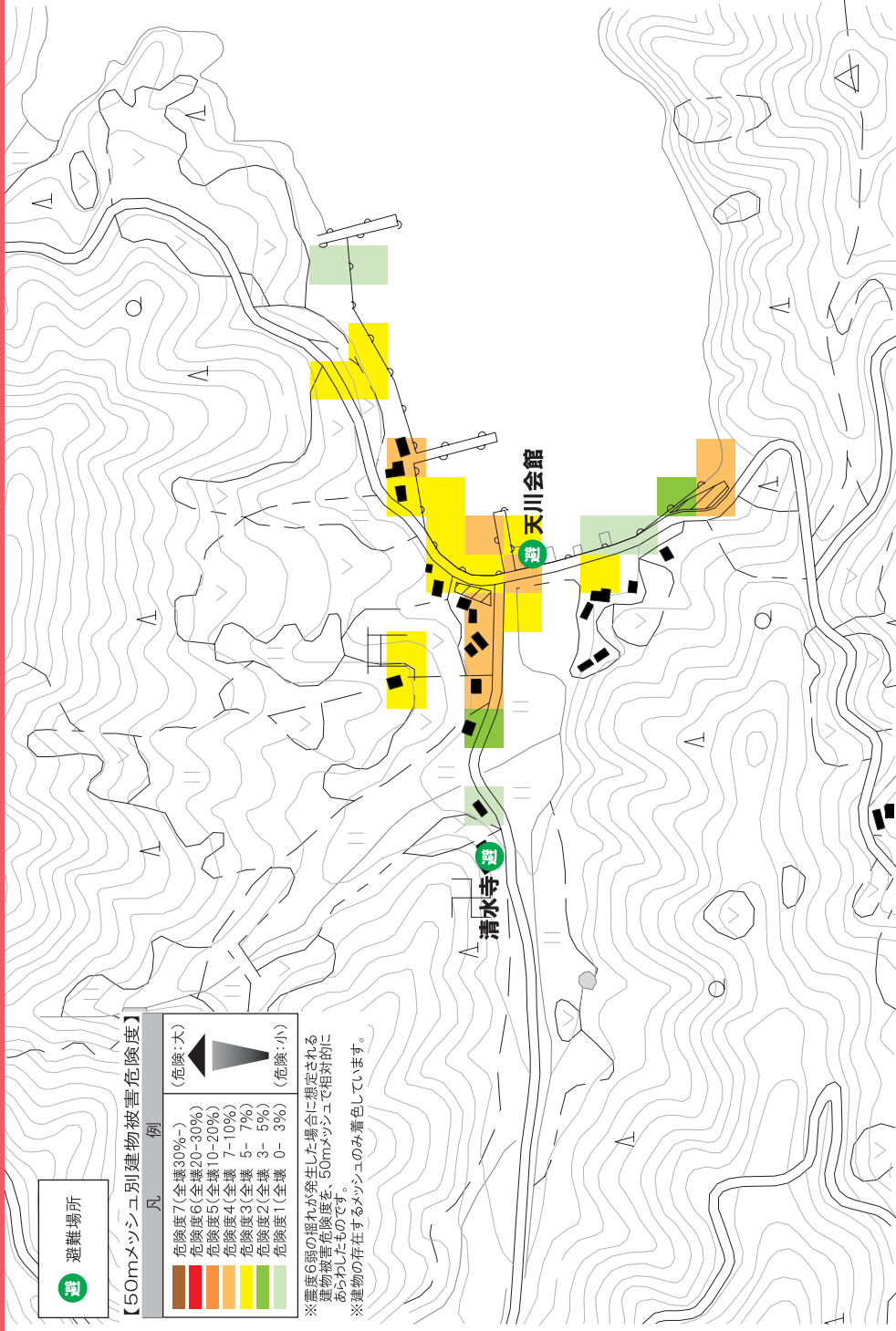
| 凡例 | (危険:大) |
|----------------|--------|
| 危険度7(全壊30%-) | ▲ |
| 危険度6(全壊20-30%) | ▲ |
| 危険度5(全壊10-20%) | ▲ |
| 危険度4(全壊7-10%) | ▲ |
| 危険度3(全壊5-7%) | ▲ |
| 危険度2(全壊3-5%) | ▲ |
| 危険度1(全壊0-3%) | ▲ |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。

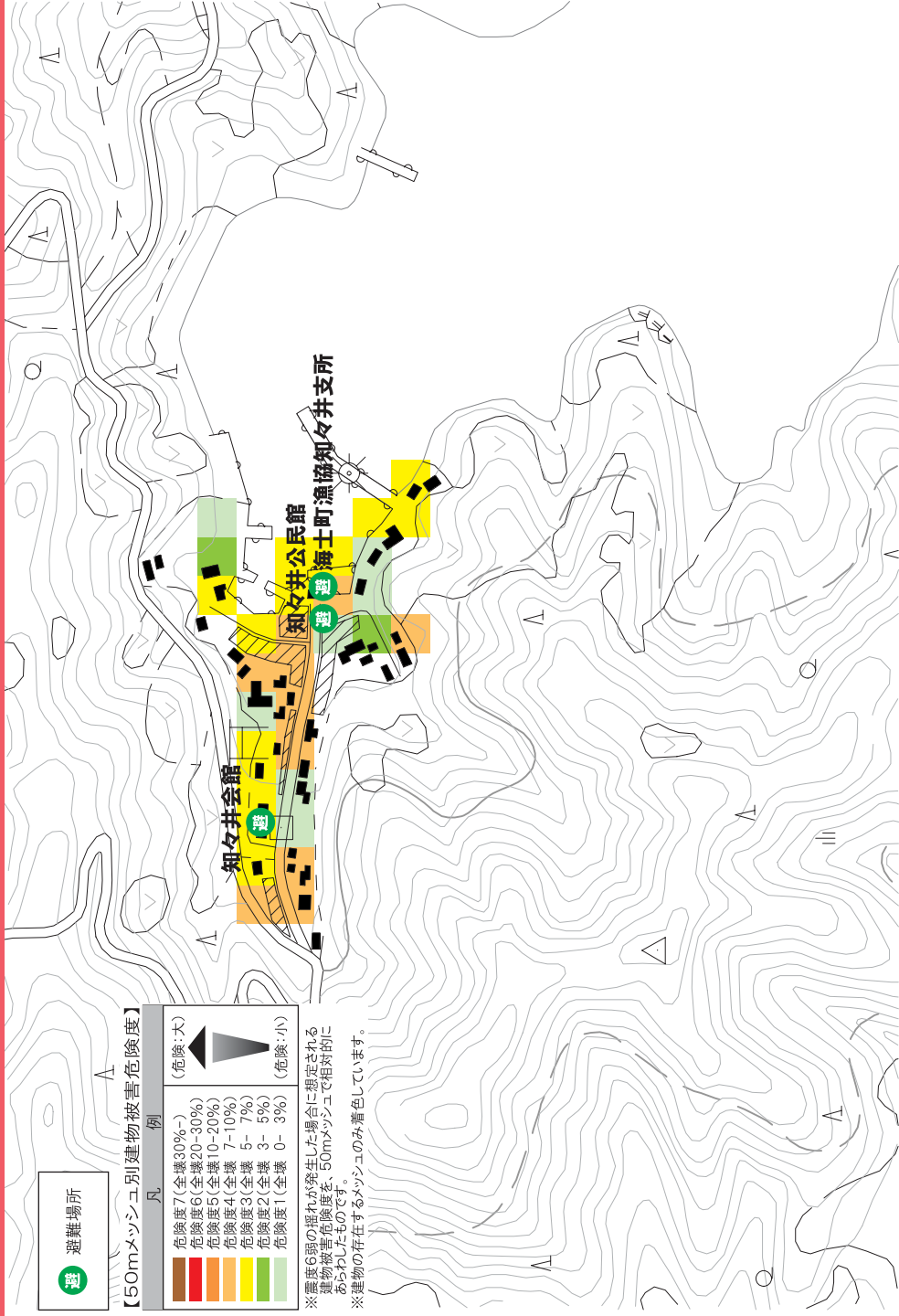
避 都市農村交流センター

避 豊田公民館



海士町 地震防災マップ 地域の危険度

知々井地区



● 避難場所

【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡例 | (危険:大) |
|----------------|--------|
| 危険度7(全壊30%~) | ▲ |
| 危険度6(全壊20-30%) | ▲ |
| 危険度5(全壊10-20%) | ▲ |
| 危険度4(全壊7-10%) | ▲ |
| 危険度3(全壊5-7%) | ▲ |
| 危険度2(全壊3-5%) | ▲ |
| 危険度1(全壊0-3%) | ▲ |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。

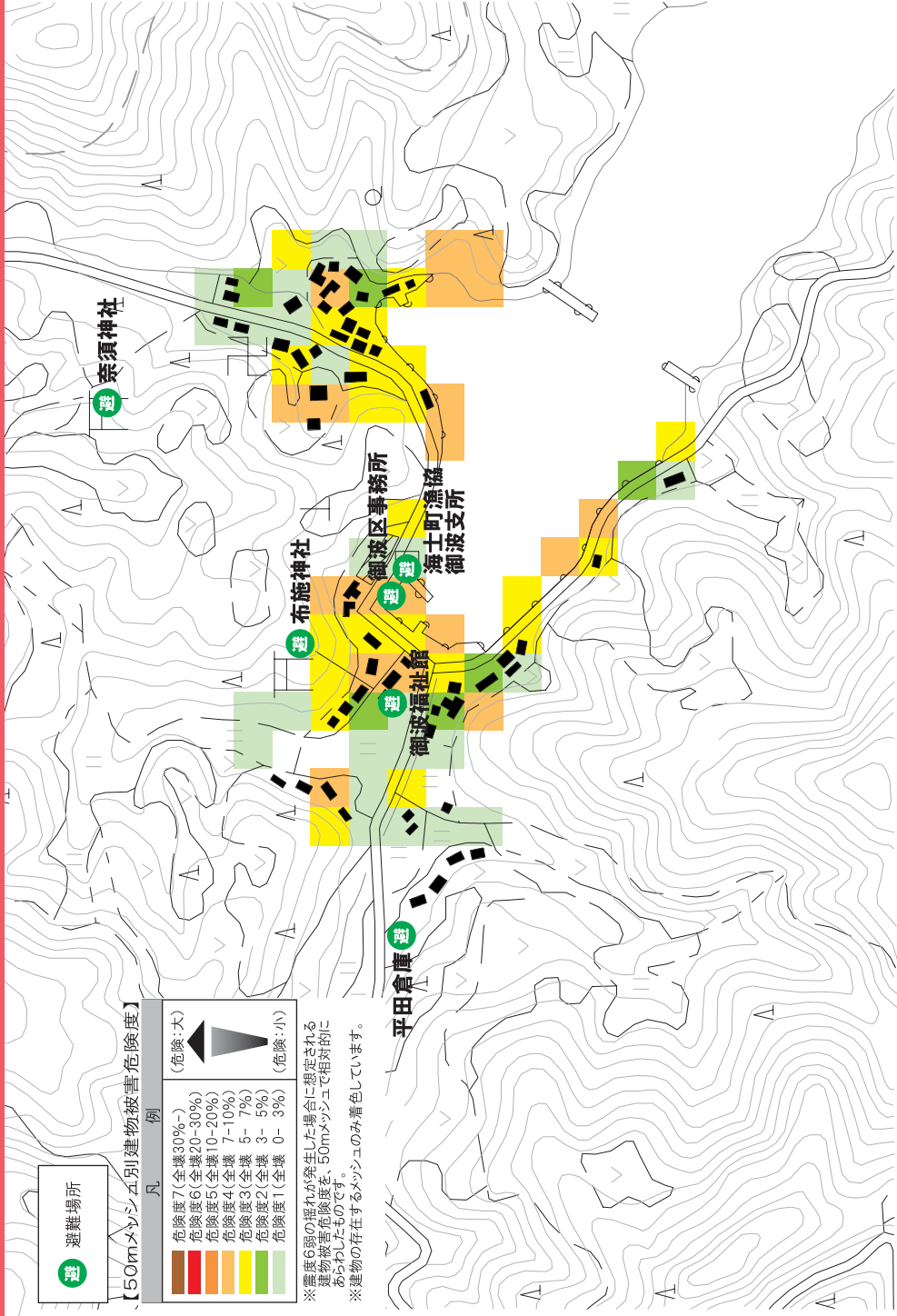
避 避難場所

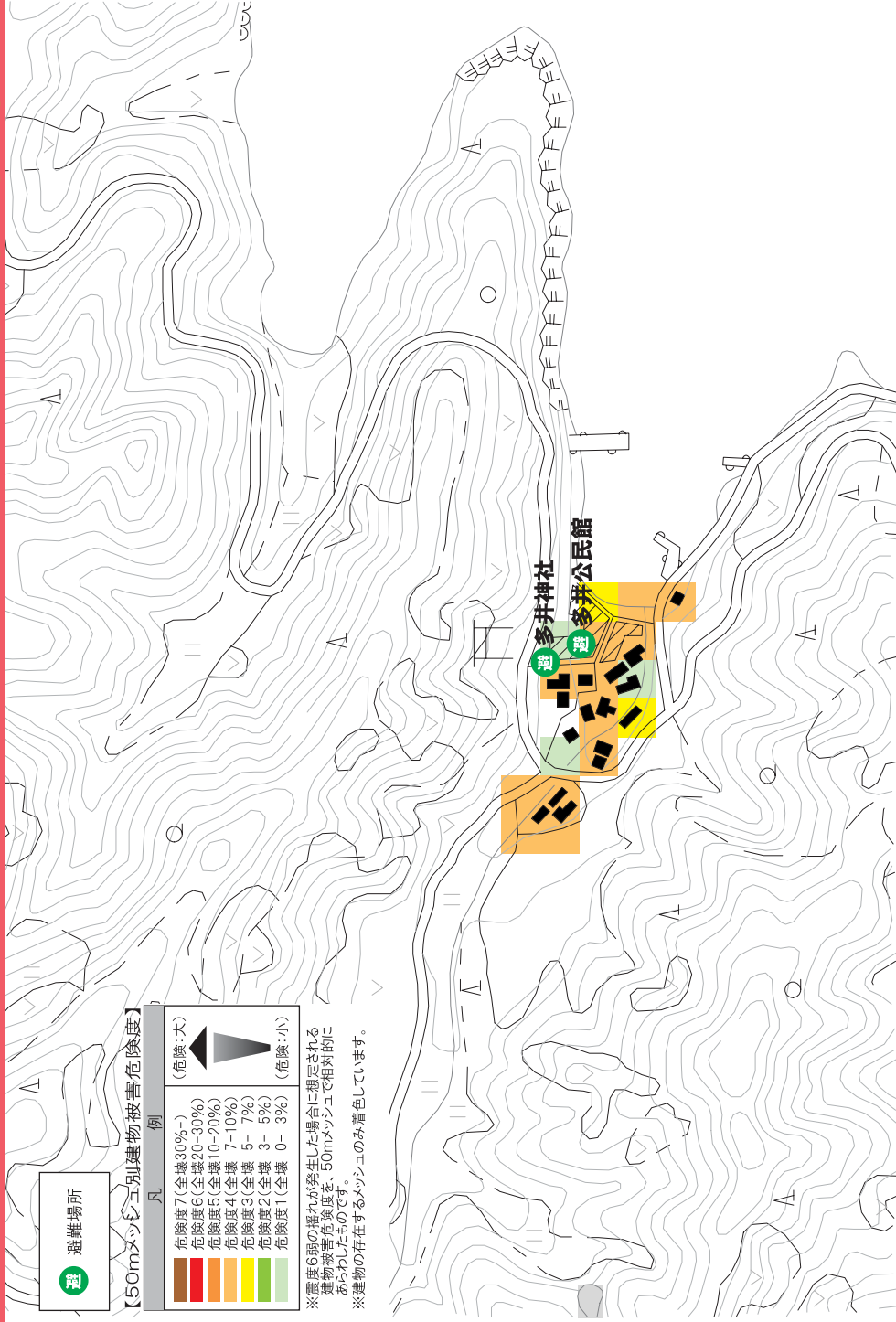
【50mメッシュ別建物被害危険度】

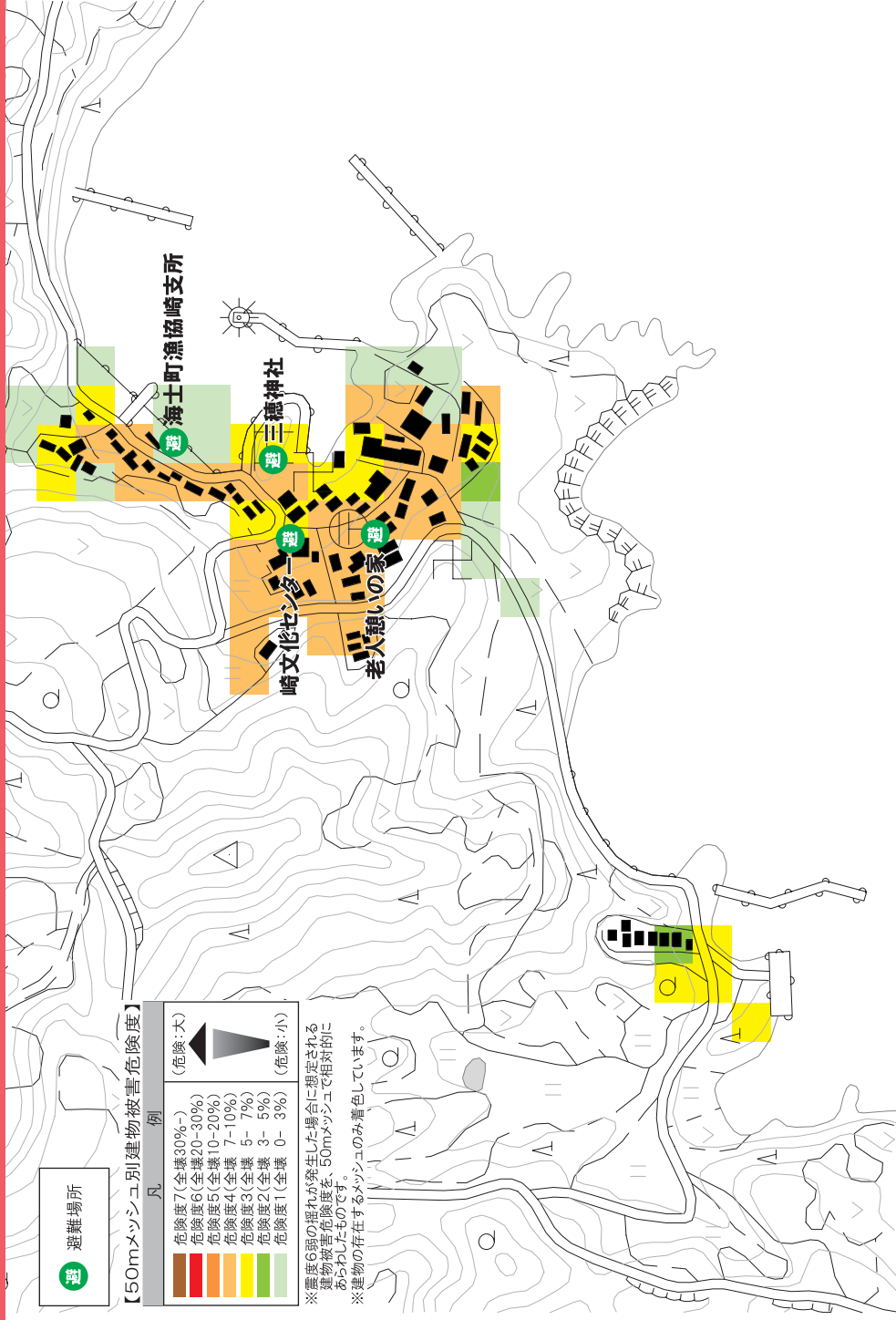
| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| | 危険度7(全壊30%~) |
| | 危険度6(全壊20~30%) |
| | 危険度5(全壊10~20%) |
| | 危険度4(全壊7~10%) |
| | 危険度3(全壊5~7%) |
| | 危険度2(全壊3~5%) |
| | 危険度1(全壊0~3%) |
| | (危険:大) |
| | (危険:小) |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。









【50mメッシュ別建物被害危険度】

| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| | 危険度7(全壊30%-) |
| | 危険度6(全壊20-30%) |
| | 危険度5(全壊10-20%) |
| | 危険度4(全壊7-10%) |
| | 危険度3(全壊5-7%) |
| | 危険度2(全壊3-5%) |
| | 危険度1(全壊0-3%) |
| | (危険:大) |
| | (危険:小) |

※震度6弱の揺れが発生した場合に想定される建物被害危険度を、50mメッシュで相対的にあらわしたものです。

※建物の存在するメッシュのみ着色しています。

